

三重県へき地医療通信

第8号

発行元

三重県

へき地医療支援機構

(健康福祉部医療政策室)

電話059-224-3370

発行日

平成18年12月13日

【速報】

ドクターバンクの運用
が開始されました。

新聞、ニュース等でも連日取り上げられておりますが、地方の医師不足はますます深刻化の一途を辿っています。そうした医師不足の解消を目的とし、三重県ドクターバンク制度 Doctor's Career「みえ医師バンク」が創設されました。

平成18年度へき地医療研修会(8月26日・27日)
へき地医療の質の向上とへき地医療に携わる者の交流をはかることを目的とした、へき地医療研修会を鳥羽市の離島、答志島旅館「定洋」にて開催いたしました。へき地・地域医療に携わるスタッフ計6職種、53名が参加しました。

初日は島根県、隠岐島前病院長、白石吉彦先生にご講演「隠岐島前病院における離島医療」をいただき、続いてワークショップを行い、神島診療所、奥野正孝先生に総評をいただきました。2日目は2班に別れ、1班は鳥羽市の離島診療所である桃取、菅島診療所をチャーター船で巡り、実際の診療現場を見学させていただきました。

もう1班は山田赤十字、老人保健施設「虹の苑」施設長、山中富美子氏による実技研修「家庭看護法」で、家庭における介護方法を実際にふとんや浴衣等を使用して学習しました。



ワークショップの風景
医療政策監 自ら実践



白石吉彦先生 講演
「隠岐島前病院における離島医療」



山中富美子氏
実技研修「家庭看護法」



奥野正孝先生 ワークショップ
「離島医療における問題点」

へき地医療体験実習開催

8月21日(月)～8月23日(水)3日間の日程で国保報徳病院(大台町)、鳥羽市立神島診療所、町立南伊勢病院、紀南病院(御浜町)において平成18年度へき地医療体験実習を開催しました。

県修学資金貸与者および自治医科大学生、計10名の医学生が参加し、実習最終日の8月23日にはドクターバンク制度第1号、公立紀南病院の鈴木孝明先生をお招きし、県庁にて体験実習報告会を行いました。将来勤務することになることなるであろう、へき地医療の実際の現場を肌で感じ、へき地医療に対するそれぞれの思いや体験を話し合い、理解を深めました。

来年度以降も多くの医学生にへき地医療の現場を知っていただくため、さらに充実した実習となるよう努めていきたいと思っております。またこの場をお借りしてご協力いただきました施設の皆様に感謝の意を述べたいと思っております。ありがとうございました。

【三重県へき地医療支援機構】

三重県へき地医療支援機構は、国のへき地保健医療対策に基づき平成15年度より三重県健康福祉部に設置されており、へき地医療での勤務経験がある医師が専任担当官として配置されています。



体験実習報告会の様子 (H18.8.23)

平成18年度東海三県へき地医療研修会開催のお知らせ 平成19年2月17日(土)

津駅ビル、アスト津において愛知・岐阜・三重、東海3県のへき地医療支援機構主催、(財)地域社会振興財団共催のもと、平成18年度東海三県へき地医療研修会を開催いたします。

自治医科大学の第1期卒業生で自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門、梶井英治教授の基調講演に続いて研究発表を行っていただきます。研修会終盤には同じく第1期卒業生の鳥羽市立神島診療所長、奥野正孝先生に総評を頂きます。研究発表については各県より2題ずつ発表いただく予定で、現在、参加者募集とともに幅広く演題を募集しております。

詳細につきましては三重県へき地医療支援機構ホームページ(URL: <http://www.pref.mie.jp/ryos/teki>)にて公開しております。

↑↑にて公開しております。

三重の地域医療キーワード紹介

Doctor's Career 「みえ医師バンク」とは?

国の医療費抑制策および医師の偏在化等により医師不足がますます深刻化してきています。十分な医療が供給できなくなり、結果、地域住民の医療に対する安心安全を脅かすつつあります。これらの問題を解決すべく、県外の医師はもとより再就業される女性医師、定年退職されたベテラン勤務医を中心に、三重県内の病院、診療所へ定着していただくことを目的とした三重県ドクターバンク、Doctor's Career「みえ医師バンク」が創設されました。

三重県がNPO法人MMC卒業臨床研修センターに管理委託しており、専任スタッフが主にインターネットを活用した医師の就職に関する情報提供、斡旋等、コーディネートを行います。また、様々な医療機関のキャリアを組み合わせ、キャリアシップランを提案し、医師の技術、資質の向上を目指し安心で安全な医療を三重県民に提供することを目的としています。

求人は県内の医療機関限定ですが求職者は県内外を問いません。EJUTA(医師)も大歓迎です。今後、女性医師・定年退職後医師など医療現場から離れている医師の再研修制度も視野に充実を図ってきたいものです。詳しくは Doctor's Career「みえ医師バンク」ホームページ(URL: <http://mie-ishibank.com/>)をご覧ください。

↑↑にて公開しております。

↑↑にて公開しております。

医師確保に関する取組み

三重県医師修学資金貸与者募集

三重県では医師確保に対する取組みとして県内のへき地医療、小児・産婦人科医療等に従事する意思のある医学生、研修医、大学院生、へき地に転任する医師を対象に修学資金、研究資金を貸与します。いずれも一定期間、県内指定医療機関等で勤務した場合、返還が免除されることとなります。

平成18年12月現在、10名の医学生(今年度5名)に修学資金を、1名のへき地転任医師に対して研究資金を貸与しております。詳細は修学資金ホームページ(URL: <http://www.pref.mie.jp/ryos/syugaku/bosyu.htm>)をご覧ください。

【問合せ先】 三重県健康福祉部医療政策室

救急・へき地対策グループ

電話059 224 3370

E-mail: ryos@pref.mie.jp

【編集後記】ホームページは月1回程度更新しているのですが、機関紙のほうがおそろかに・・・。ようやく今年度2紙目の機関紙発行、何とか年内の発行に間に合いました。3紙目の発行はいつになるのやら?? (刀根)

